

氏名	住所
	(「/」を使わず、黒の筆記具でお書き下さい)
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県
	都道府県

貴裁判所において審理されている平成20年(た)第1号再審被告事件について、一日も早く袴田巖さんに無罪判決が出されることを請願します。

袴田巖さんの再審無罪を求める請願書

※請願書は切り取らないでください

☆2014年3月27日、静岡地方裁判所が再審開始及び死刑と拘置の執行停止を決定、袴田巖さんは東京拘置所から即日釈放されました。実に逮捕から47年7か月が経っていました。しかし検察が即時抗告して東京高裁が2018年再審開始決定を取り消し。2020年12月、最高裁はこの決定を取り消して東京高裁に差し戻しました。そして2023年3月、東京高裁は再審開始を支持。検察が特別抗告を断念したため、ついに再審開始が確定しました。10月27日から始まった再審公判は、15回の再審公判を経て2024年5月22日に結審。検察はあらためて袴田巖さんに死刑を求刑しました。9月26日に判決が出る予定です。

袴田巖さんを救う会が下記のような呼びかけで1991年から集め始めた署名は、2023年6月で15万筆を越えました。袴田巖さんは88才。お姉さんの秀子さんは91才です。一日も早く再審で完全無罪が実現し、巖さんが真に自由の身となるまで、みなさまのご協力をお願いいたします。(2024年7月)

無実の死刑囚・袴田巖さんの再審無罪を求める署名のお願い

＋主の平和

「存知とは思いますが、四〇年以上も前のことで、人々の記憶が薄れてもふしぎでは
ありません。静岡真清水市(現静岡市)の味噌会社一家四人が殺害された放火された事件で
す。元プロボクサーの袴田巖さんが逮捕され、起訴され、静岡地裁は死刑を言い渡し、高
裁は控訴を、最高裁は上告を棄却して一九八〇年に死刑が確定しました。

袴田巖さん(霊名パウロ)は一九八一年以来再審を請求してきましたが、一三年後の
一九九四年に静岡地裁で再審請求を棄却されました。二〇〇八年四月、最高裁が特別
抗告を棄却したため、現在、静岡地裁へ第二次再審を申し立てています。

袴田巖さんは獄中から一人息子に語りかけています。(一九八三年二月八日の日記)
「息子よ、どうか直ぐ清く勇氣ある人間に育つように。お前が正しい事に力を注ぎ、
苦勞の多い冷たい社会を反面教師として生きていけば、遠くない将来にきつとチャンは
懐かしいお前の所に健康な姿で帰っていくであろう。そして、必ず証明してあげよう。
チャンは決して人を殺していない。それを一番よく知っているのは警察であって、一番
申し訳なく思っているのが、裁判官であること」と。

この言葉は、袴田巖さんの無実を語る人格証拠だと、私たちは信じて疑いません。無
実の死刑囚袴田巖さんは、四〇年来の冷たい獄中であって、死刑台の恐怖におのきな
がら、ついには精神を病み、家族や支援者ともほとんど面会出来ない状態です。彼を見
殺しにすることはできません。袴田巖さんは一九八四年二月二十四日、主の恵みを信
じてカトリックに入信しました。皆さん、力を合わせてパウロ袴田巖さんを死刑台から
救い出しましょう。

イエスは「わたしの兄弟であるこの最も小さい一人にしたのは、わたしにしてくれた
ことです」とおっしゃっています。パウロ袴田巖さんこそまさに「この最も小さい者の一
人」なのです。無罪であることは明々白々です。

裁判官の心を動かし、一日も早く再審の門を開かせるために、どうぞ皆さまがたの
心のこもった御署名をお願いします。

故ペトロ白柳誠 一板機卿